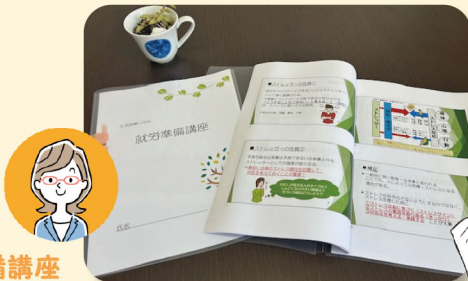


ての「しえあつとこ」というプログラムも提供しています。皆で決めた活動を行ったり、自分の興味のある活動をしたりと、他者と「場」を共有することを目的としたプログラムです。まずはその「場」にいることから始められるプログラムとなっています。それ以外にも、プログラムとは別に全8回にわたる「就労準備講座」も行っています。これは対象者が集まれば開催するもので、特に定期的に行っているものではありません。このように、「いろは」では多様なプログラムを用意して、利用される方のニーズに合わせたサポートを行っています。

今後の「いろは」の役割と展望

個々の利用者に応じた個別支援の充実

今までと大きく変わりはありませんが、改めて、利用者それぞれが望む生活に向けた個別支援を継続していきたいと考えています。特に、若年層やひきこもりがちの方が増えてきているため、そのような方々に対するアプローチも充実させていきたいです。具体的には、訪問による個別支援、そこから通所に繋げていく関わり、さらには「しえあつとこ」のようなプログラムへの参加など、少しずつ段階的なサポートができればと思います。



就労準備講座



しえあつとこ



ペットボトルモルック



料理プログラム

「いろは」は有期限のサービスとなりますので、終了後の方向性を考えることが重要になります。そのためにも、「いろは」だけで完結せず、次の社会資源に繋げていく視点が求められると思います。利用者個々の特性に合わせて、柔軟に他機関と連携を取っていく必要があると考えています。特に、移転に伴って「相談支援事業所おうばく」と一緒に移転することになったので、連携しやすい環境になっています。その結果、利用者の生活をトータルに見ながら、個別支援を行うことができるようになってきています。この強みを活かしながら、利用者それぞれのニーズに合わせた個別支援が行えるという、と考えています。

他機関・サービスとの連携



笠松 茜 (かさまつ あかね)